

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
社会的養護論	講義	2	山川 宏和

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ:社会的養護とは何か、里親や児童福祉施設について理解する。

目標:里親(4類型)について説明できる。乳児院と特別養子縁組制度の関係を説明できる。社会的養育ビジョンの要点が説明できる。非行少年の処遇の3種類について説明できる。

【授業の概要】

1. テキストを基に、各回のテーマについて講義を行う。
2. 必要に応じてDVDなどの映像素材を使用する。
3. 保育士として必要な知識である、里親・養子縁組・施設養護等について説明し、学びを振り返る。

【全体の授業計画・内容】

1. 児童虐待の現状(1) 身体的虐待、ネグレクト  
事前学修課題:厚生労働省が示している身体的虐待とネグレクトの定義を学ぶ(0.5時間)。  
事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
2. 児童虐待の現状(2) 性的虐待、心理的虐待  
事前学修課題:厚生労働省が示している性的虐待と心理的虐待の定義を学ぶ(0.5時間)。  
事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
3. 里親養育の現状(1) 養育里親  
事前学修課題:配布した資料を確認しておく(0.5時間)。  
事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
4. 里親養育の現状(2) 専門里親・親族里親・養子縁組里親  
事前学修課題:厚生労働省の資料(社会的養護の現状について)を読む(0.5時間)。  
事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
5. 乳児院の現状(1) 養育の実際  
事前学修課題:厚生労働省の資料(社会的養護の現状について)を読む(0.5時間)。  
事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
6. 乳児院の現状(2) 特別養子縁組制度  
事前学修課題:厚生労働省の資料(社会的養護の現状について)を読む(0.5時間)。  
事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
7. 児童養護施設の現状(1) 本体施設  
事前学修課題:厚生労働省の資料(社会的養護の現状について)を読む(0.5時間)。  
事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
8. 児童養護施設の現状(2) グループホーム  
事前学修課題:社会的養育ビジョンの該当部分を参照しておく(0.5時間)。  
事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
9. 児童養護施設の現状(3) 大舎制養護  
事前学修課題:児童養護施設運営ハンドブックの該当部分を参照しておく(0.5時間)。

事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
10. 児童養護施設の現状(4) 小舎制養護 事前学修課題:児童養護施設運営ハンドブックの該当部分を参照しておく(0.5時間)。 事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
11. 非行少年の実態 事前学修課題:法務省の資料の該当部分を参照しておく(0.5時間)。 事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
12. 保護処分(保護観察、少年院送致、児童自立支援施設等送致) 事前学修課題:11回目の授業で配布した資料を参照しておく(0.5時間)。 事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
13. アタッチメント障害と児童心理治療施設 事前学修課題:厚生労働省の資料(社会的養護の現状について)を読む(0.5時間)。 事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
14. 児童心理治療施設について 事前学修課題:厚生労働省の資料(社会的養護の現状について)を読む(0.5時間)。 事後学修課題:学んだ内容を指定用紙に記録する(0.5時間)。
15. 試験およびまとめ 事前学修課題:これまでの学びを参照しておく(2時間)。 事後学修課題:学んだ内容を振り返る(0.5時間)。
<b>【学習のあり方】</b> 予習のあり方: テキストの該当箇所を読んでおく 学習のあり方: DVD 素材の内容等もメモをとる 復習のあり方: 返却されるレーダーチャートを復習する
<b>【成績評価】</b> 平常試験(80%)、小テスト(20%)
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b> 提出されるレーダーチャートを確認し、コメントを記入して返却する。
<b>【テキスト】</b> 安藤和彦、石田慎二、山川宏和編「社会的養護内容演習」、建帛社
<b>【参考文献】</b> 授業中に提示する
<b>【実務経験の有無】</b> なし